

事前課題

別紙1を参考に、次の条件の下、ゲームの名前、特徴、ルール及びその説明図を、この用紙の裏側又はノートなどに描き、当日11月3日に持参してください。この授業自体を、皆さんが生まれ持っている「想像力+創造力」を引き出すためのゲームと考えて、遊び心を持って、チャレンジしてください。

ゲームのルールを考える上での条件

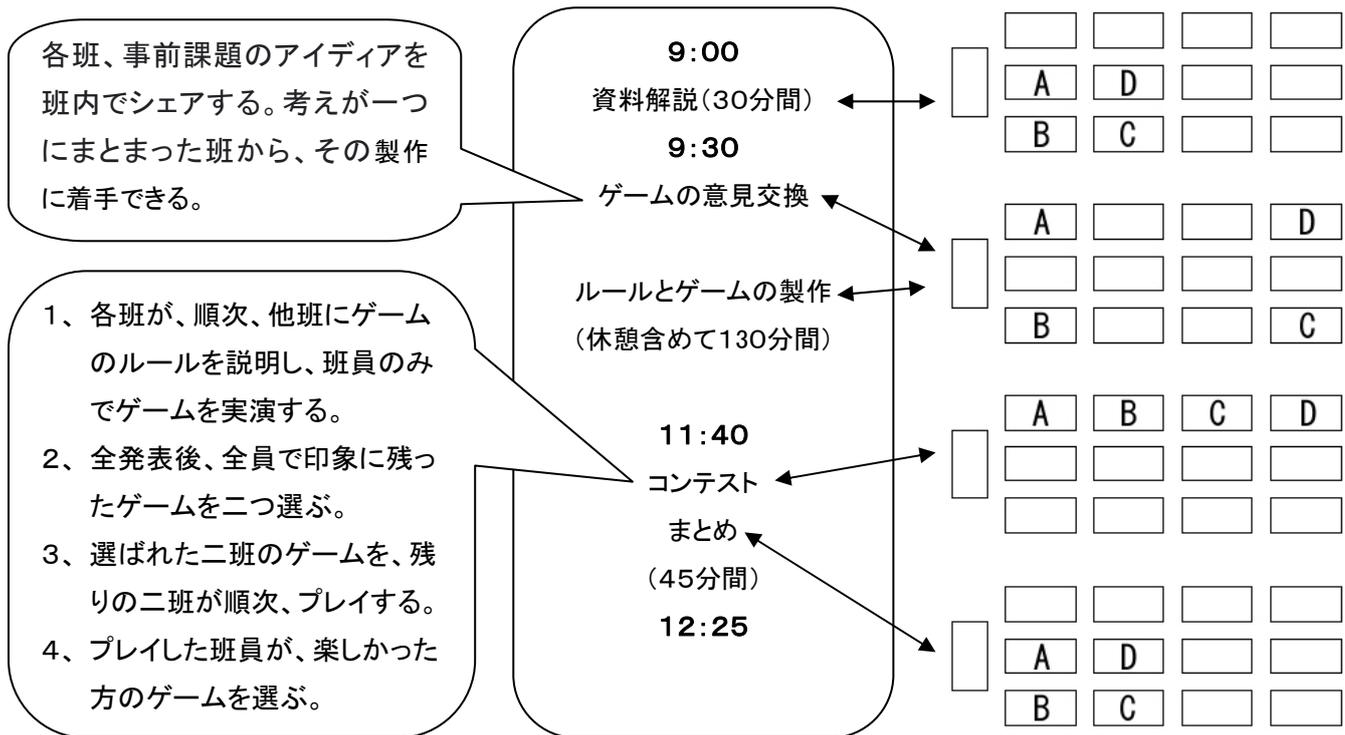
- 1) ゲームは、ピン球(各プレイヤーに1個)と水で満たされたドリンク瓶(各班に5本)を必ず使い、テーブル上で二班が安全に楽しめるものであること。
- 2) ゲームは、作業台(90×240cm)全体や模造紙(1091mm×788mm)上など作業台の一部をフィールドとし、厚紙製の障害物やガイドフェンスを設けてもよい。
- 3) 工作用紙で作った道具で、ピン球を転がしたり、バウンドさせたりできる。直接、手で転がしたり、指で弾いてもよい。
- 4) ゲーム時間は5分間とする。

(注)ピン球は跳ね方が異なる2種類があるので、ゲームに応じてどちらを選んでよい。

参照: <https://shunya.namaste.jp/Shussh/2023/2p-t.htm>



11月3日の授業は、次のように考えています



お願い

当日は各班に、学校からA4用紙10枚、A3用紙10枚、A3白表紙10枚、A3工作用紙20枚、模造紙2枚、はさみ1本、カッター1本、定規1本、ホチキス1個、カラービニールテープ(赤・緑・黄・黒)各1巻、セロテープ1巻、両面テープ1巻、黒マジック1本、赤マジック1本が配布され、私からは、各班に、三ツ星ピン球5個、無印ピン球5個、小瓶5個が配られます。それで、自分のアイデアの製作に必要なと思われる自分用の道具(定規・コンパス・ハサミ・カッターなど)や接合材(ホチキス・セロテープ・両面テープ・ガムテープなど)、そして、作業台を汚したり、傷つけたりしないための下敷き、古新聞紙などは各自ご持参ください。なお、ChatGPTを試したい方は、スマホも忘れずに!